

主な内容

- 12月定例市議会
- 山口ファミリーサポートセンター
- 市民意識調査

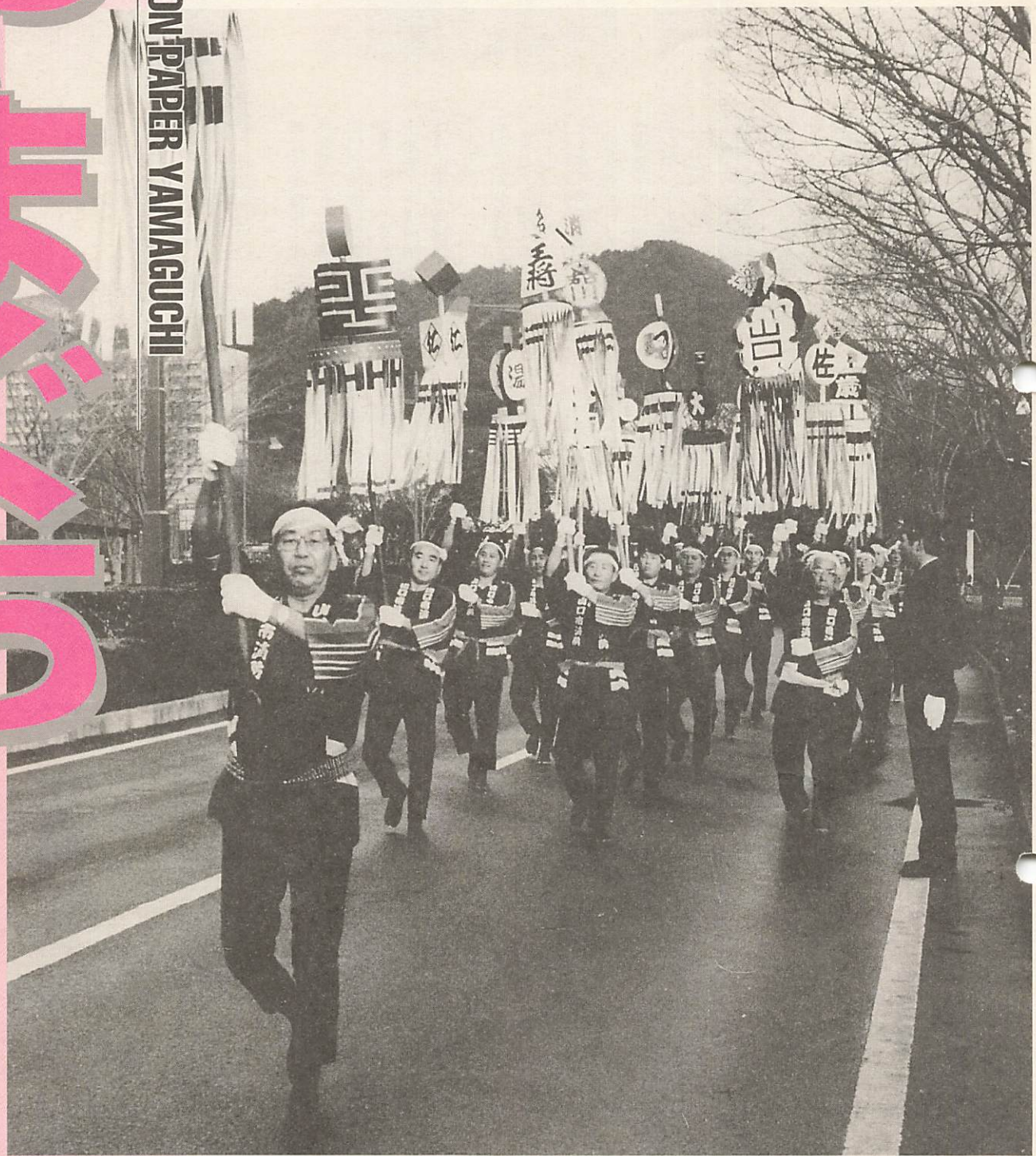
●発行/山口市役所 〒753 山口市龜山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/山口印刷工業株

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全

交通事故状況(12月)

- 発生件数68(累計728/前年比+70)
- 死亡者2(累計13/前年比-1)
- 負傷者75(累計789/前年比+33)



勇壮に観閲行進

出初式は江戸時代の町火消しに始まった歴史と伝統を誇る年中行事です。1月6日の山口市消防出初式には各地区消防団、婦人防火クラブ、本部の総勢370人による観閲行進がパークロードで勇壮に行われました。凛々しい制服姿や16地区の纏持ちは初春を飾る風物詩。

行進のあと、市民会館での式典では、永年勤続などの功績による93人の方の表彰式も行われました。地域住民の安全と貴重なふるさとの財産を守る皆さん、今年もよろしく。

1/15
1995年No.1140

■再生紙(古紙混入率80%)利用の市報です。
(上段は、平成7年1月1日現在、下段は昨年1月1日との比較)



12月定例市議会

一般会計補正予算など

二十八議案を可決・承認

条例

平成六年第六回市議会定例会は、十二月二十日、すべの日程を終え閉会しました。
可決された議案は、予算九件、条例九件、事件議決七件と議員提出議案二件、追加議案一件の合わせて二十八件です。

予算

一般会計補正予算(第三号)

歳入歳出の総額に二億二千八百二十余万円を追加、総額は三百九十億七千五百余万円となりました。

- ・主なものは次のとおりです。
- ・総務費：庁舎等維持補修工事に三千万円
- ・民生費：すくすく子育て支援事業に百万円
- ・衛生費：合併処理浄化槽設置整備補助金に二千七百七十余万円
- ・可燃ごみ処理対策推進事業に三百万円
- ・労働費：勤労者総合福祉センター運営費に五百七十余万円
- ・勤労者総合福祉センター整備費に四百十余万円

そのほかの補正予算

- ▽山口市下水道事業特別会計補正予算(第一号)
- ▽山口市特別林野特別会計補正予算(第二号)
- ▽山口市自動車運送事業会計補正予算(第一号)
- ▽山口市水道事業会計補正予算(第一号)



2月中旬オープン予定の山口市勤労者福祉センター(愛称 サンフレッシュ山口)

- ◆議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆職員団体の登録に関する条例の一部を改正する条例
- ◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◆職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
- ◆山口市休日夜間急病診療所設置条例の一部を改正する条例

事件議決

- ◆字の区域の変更等について(三件)
- ◆山口市放置自転車等の防止に関する条例
- ◆山口市営住宅条例の一部を改正する条例
- ◆山口市営自動車運送事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆山口市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

- ◆(仮称)林業研修センター建設用地の取得について
- ◆山口市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の一部を変更することについて
- ◆山口市等公平委員会の委員の選任(任期満了に伴うもの)
- ◆本廣正義氏(75・鏑鏡司)固定資産評価審査委員会の委員の選任(任期満了に伴うもの)
- ◆増野 厚氏(66・大内)
- ◆上田良雄氏(70・宮野)
- ◆小田博三氏(75・春日町)
- ◆中原 泉氏(70・吉敷)
- ◆坂根 忠氏(55・大蔵)
- ◆矢儀良三氏(68・嘉川)
- ◆岩本芳彦氏(73・佐山)

追加議案

める意見書の提出について
◆市民生活を支える道路予算の拡充に関する意見書の提出について

山口市税条例の一部を改正する条例：地方税法の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

日程

- 十二月五日 開会
- 十二月十四日 一般質問・質疑、議案二十・二十一、二十七、討論・採決
- 十五日 教育民生委員会、建設委員会
- 十六日 総務委員会、経済委員会
- 二十日 委員長報告・討論・採決

議員提出議案

◆新ゴールドプラン及び子育て支援計画の閣議決定を求

山口市議会議員一般選挙

立候補届け出の説明会

四月二十三日(日)に予定されている山口市議会議員一般選挙に立候補される方の立候補届け出の手続きなどについて、「事前説明会」を次のとおり行います。

当日は、届け出用紙等もお渡ししますので、関係者は必ずご出席ください。

□日時 二月十五日(水) 午前十時～午後三時

□場所 市役所第十会議室(二階)

山口ファミリー・サポート・センター



子育て応援します 会員募集中!

忙しいとき、子どもを預かってくれる人がいたら助かりますね。山口ファミリー・サポート・センターでは「子育てのお手伝いをしたい」「子育ての手助けをしてほしい」という人たちが地域でグループをつくり、一時的な子どものお世話を会員同士が有料で行っています。

援助の内容は？

- 保育施設が始まるまで子どもを預かります。
- 保育施設が終わったあと子どもを預かります。
- 保育施設まで子どもの送り迎えをします。
- 学童保育のあと子どもを預かります。
- 学校の放課後、子どもを預かります。
- 子どもが軽度の病気の場合などに、子どもを預かります。

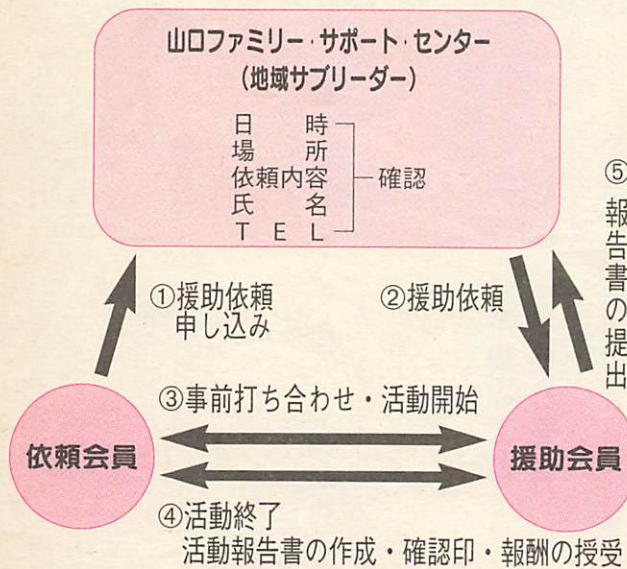
※ 臨時的な援助に限ります。



TEL 28-4150

ファミリー・サポート・センターは、保育施設だけでは対応できないさまざまな要求に応え、仕事と家庭を両立できるように始められた事業です。市では、「山口ファミリー・サポート・センター」を平成六年十一月、全国に先がけオープン。活動の主体は（財）山口県婦人教育文化会館で、センター事務局を同会館内の山口市働く婦人の家に置いています。現在の会員数は、九十人。依頼のみの会員が三十一人、依頼と援助両方の会員が三十八人、三人です。

システムは？



瀬川アドバイザー

実際に利用された大歳の三井さん（会社員）は、「先日、朝早くから仕事で出かけなければならなかったのですが、託児所がまだ開いていない時間だったので、援助会員の方にお願いをしました。いざというときに助かります。」

援助をされている平川の今田さん（主婦）も、「月に十日ぐらい活動します。午前中はパートをしています。午後

は自分の子どもと一緒に三時間ほどお世話をさせていただきます。少しでもお役に立てばうれしいですね。」

また、センター事務局の瀬川アドバイザーは、「お子さんを安心して預けていただけるように育児の講習会や会員同士の交流会を催し、もしもの時のため、会員傷害保険・賠償責任保険・児童傷害保険に同センターは加入しています。援助が急に必要になったとき、会員になっていれば、すぐにお助けしてもらえますので、どうぞ気軽にお申込みください」と皆さんの入会を待っています。

報酬は？

一般保育	昼間	1時間あたり 600円 7:00~19:00
	早朝・夜間	1時間あたり 700円
	土・日・祝日	1時間あたり 700円
病児保育		1時間あたり 700円

入会申し込みは？

写真1枚(3×2.2cm)・印鑑をご持参のうえ、山口ファミリー・サポート・センター事務局(湯田温泉5丁目1-1 山口県婦人教育文化会館内)までどうぞ。

山口市に住んでおられる方なら年齢・性別にかかわらず、どなたでも会員になれます。

ただし、援助の対象となるのは0歳から小学6年生までの子どもを持つ家庭です。

市民意識調査



市では、平成元年に「第四次山口市総合計画」を策定し、「自然と文化をはぐくみ躍動する中核都市 やまぐち」の創造・実現に向け、努力しているところです。

この目標の実現のためには、市民のみなさんご意見を十分に把握する必要がありましたので、市民意識調査を昨年七月に実施しました。このたび、その調査結果をまとめましたので、主なものを紹介いたします。

調査方法

○調査対象者 二十歳以上の成人を各地区ごとに五十音順とし、無作為・等間隔に三分の一を抽出

○調査方法 対象者二千九百六十三人に郵送（内十七票が事故票。無記名方式）

○調査期間 ▽発送：七月七日、▽回収：七月二十日（八月八日まで到着分も有効としました）

○調査内容 十二項目四十三問と意見要望記載の自由欄。前回（平成三年）との意識の変化を知るために、同じ質問をいくつか残しています。また、山口市の魅力や文化を高めるための方法についての質問を新たに設けました。

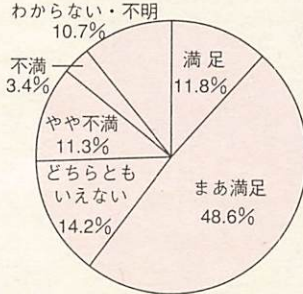
○回収率 五三・八％
（回収数一、五八六票）

住みやすさの満足度は60%

「山口市の生活環境について、どのように感じていますか」の質問については、「全体的にみた山口市の住みやすさ」についての項目で、「満足」と「まあ満足」を合わせて住みやすいと認めるものが全体の六四・二％に比べ、やや低下がみられます。

また、「やや不満」と「不満」を合わせた住みにくいと認める数値は一四・七％で、前回調査の一四・九％をわずかではあります。下回りました。なかでも「不満」とする値が前回の五・六％から三・四％へと二・二ポイント減少しています。

住みやすさ



このほかの十六項目の中で、満足度が不満足度を上回っているものは、「交通の安全性」「道路の整備状況」「教育施設」「児童福祉施設」「夜間、休日の診療」「スポーツ施設」「文

美しい自然と環境の良さが魅力

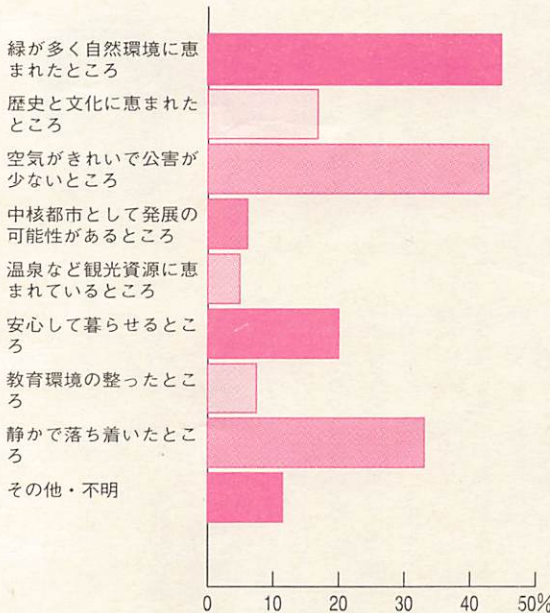
山口市のどんなところに魅力を感じるかを二つ以内で答えてもらったところ、「緑が多く自然環境に恵まれたところ」が最も多く四四・六％。次いで「空気がきれいで公害が少なくていいところ」が二二・二％と続いています。

これに対して、不満足度が満足度を上回っているものは、「交通機関の便しさ」「広場、公園、子どもの遊び場」「老人福祉施設」「娯楽・レジャー施設」「下水道等」「ごみ、し尿処理」です。

美しい自然と環境の良さが魅力

山口市のどんなところに魅力を感じるかを二つ以内で答えてもらったところ、「緑が多く自然環境に恵まれたところ」が最も多く四四・六％。次いで「空気がきれいで公害が少なくていいところ」が二二・二％と続いています。

山口市の魅力



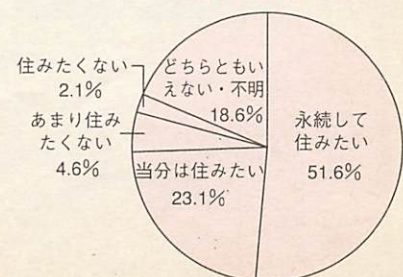
半数以上が永住を希望

山口市への居住の意思については、「永続して住みたい」とするものが五一・六％で、半数以上が永住を望んでいます。さらに、「当分は住みたい」が二三・一％で、居住意思を示す肯定的な回答が七四・七％。逆に、「あまり住みたくない」「四・六％」「住みたくない」二・一％と居住に否定的とする回答が合わせて六・七％となっています。

半数以上が永住を希望

山口市への居住の意思については、「永続して住みたい」とするものが五一・六％で、半数以上が永住を望んでいます。さらに、「当分は住みたい」が二三・一％で、居住意思を示す肯定的な回答が七四・七％。逆に、「あまり住みたくない」「四・六％」「住みたくない」二・一％と居住に否定的とする回答が合わせて六・七％となっています。

居住の意思



が二三・一％で、居住意思を示す肯定的な回答が七四・七％。逆に、「あまり住みたくない」「四・六％」「住みたくない」二・一％と居住に否定的とする回答が合わせて六・七％となっています。

年代別で見ますと、「永続して住みたい」という意見は、二十歳代で二三・八％と他の年代に比べ最も低い数値で、三十歳代は三四・七％、四十歳代四六・九％、五十歳代以上では六〇％を超える数値です。逆に、「あまり住みたくない」と「住みたくない」とを合わせた否定的な意見については、若年層で一〇％を超え、五十歳代以上では一〇％に満たない低い数値となっています。

人口の規模は二十万人程度

今後の人口動向については、

「現状程度でよい」とする人が三三・二%。「大幅に増加した方がよい」一〇・三%、「増加した方がよい」三八・七%、合わせて四九・〇%で、約半数の人が人口増加を望んでいます。

つぎに、人口増加を望んでいる人に、その規模について尋ねてみますと、最も多かったのが「二十万人程度」で四九・三%。次いで「三十万人程度」二九・〇%、「十五万人程度」一四・八%、「四十万人以上」五・三%の順となっています。

若者の定住には働く場の創出が必要

若者の定住対策としては、「働く場の整備」とするものが六七・九%、次いで「ショッピングゾーンの整備」六・七%、「遊ぶ場の整備」五・二%、「大学、短大などの教育機関の整備」三・四%となっていて、「働く場の整備」に他の選択肢と約六十ポイント以上の差で回答が集中しています。

文化活動の整備は活動施設の整備

まちの文化を高めていくための方法を二つ以内で答えてもらったところ、「文化活動の

できる施設を整備する」が多くなる。次に「地域の人が参加する祭りや催し物を盛んにする」三〇・三%、「身近な生活の中での生涯学習を進める」が二二・三%で、その他については一〇%台以下の数値です。

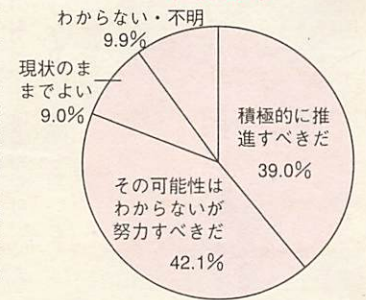
年代別で見ますと、三十歳代～六十歳代では、一位「文化活動のできる施設を整備する」、二位「地域の人が参加する祭り」、三位「生活の中での生涯学習を進める」で、いずれも同じ傾向。二十歳代、七十歳以上では、一位「地域の人が参加する祭り」、二位「文化活動のできる施設を整備する」で、三位は、二十歳代では「文化・学術など多彩な国際交流を進める」、七十歳以上では「大内文化などの遺跡や文化財を守り、活用していく」となっています。

中核都市づくりの取組にありますが、この中核都市づくりに対する意見として、「積極的に推進すべきだ」三九・〇%、「その可能性はわからないが努力すべきだ」四二・一%で、中核都市づくりに賛成とする意見が合わせて八一・一%となります。

中核都市づくり 8割が賛成

これを前回の調査と比べて

中核都市



みますと、「積極的に推進」が五・九ポイントの減で、「努力すべきだ」が四・一ポイントの増、合わせて一・八ポイントの減少となっています。

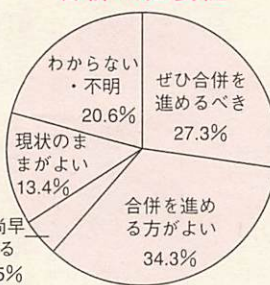
合併の進め方は意見が61%

中核都市づくり推進のために、一つの有効な手段として合併がありますが、山口市と周辺市町村との合併問題に関心があるかどうか尋ねますと、全体で六九・四%が「ある」と回答され、「ない」二八・九%でした。

これを前回の調査と比較しますと、「ある」については七・六ポイントの減で、「ない」が七・四ポイントの増加となっています。

つぎに、周辺市町村との合併が必要かという間については、「ぜひ合併を進めるべき」が二七・三%、「合併を進める方がよい」三四・三%を合わせた合併を進めるとする意見

合併の必要性



は六一・六%という結果でした。また、「現状のままがよい」一三・四%、「わからない」一九・四%、「時期尚早である」が四・五%でした。

これを「ぜひ合併を進めるべき」「合併を進める方がよい」「時期尚早である」を含めたものを合併が必要という意見とした前回の調査と比較しますと、六・九ポイントの減となっています。

高次な都市機能や就業の場の充実が期待

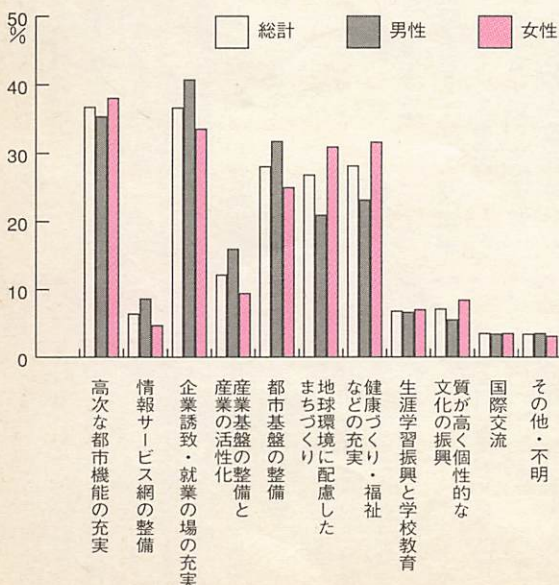
山口市が二十一世紀に向けて重点的に取り組む施策を二つ以内で答えてもらったところ、「ショッピングや文化、教

育など質の高いサービスを受けられる高次な都市機能の充実」と答えた人が最も多く三六・七%。

次いで「先端技術産業などの今後発展が期待される企業誘致・就業の場の充実」が三六・六%、以下「長寿化・高齢化に対応した健康づくり、福祉などの充実」二八・〇%、「上・下水道、道路、公園などの都市基盤の整備」二七・九%、「豊かな自然を守るとともに、ごみの資源化など地球環境に配慮したまちづくり」二六・七%となっています。

性別で見ると、全体傾向と同様五項目に集中していますが、五項目中、男性は「企業誘致・就業の場の充実」「都市基盤の整備」で女性の数値を上回っています。

21世紀に向けての施策



希望

昭和五十九年の開館以来、障害者の城」として親しまれている「しらさぎ会館」。

昨年十二月には、在宅障害者デイサービスの参加者送迎バスも新しくなりました。

このデイサービスに通い機能回復に取り組みながら創作活動にも意欲を燃やしておられる二人の障害者の方のメッセージをお届けします。

もちつづけて



昨年十二月に山口県社会福祉会館で行われた「第十二回山口県障害者希望芸術文化展」。

松田正人さん(大

歳)は水彩画「白百合」を出品され奨励賞を、今井米子さん(天花)は書道「紫式部の短歌」により優秀賞を、それぞれ受賞されました。

新型バスで在宅障害者デイサービスの送迎を

従来の送迎用バスが老朽化したため、市が新たに約六十七万五円で購入、十二月二十一日、山口市社会福祉協議会へ無償貸与しました。

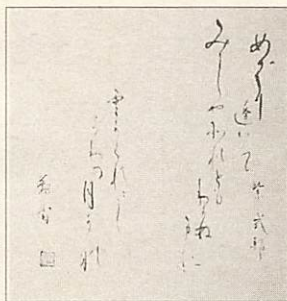
新型バスは二十四人乗り。車体後部のリフトで車いすのまま乗り降りができ、通常の乗降口も低くなっています。



いっしょに

がんばりませんか

平成二年に脳出血により右半身不随となられた松田さんは、「最初は身体の機能回復だけにとられて気持ちに余裕がありませんでした。絵筆を持ったのもこの一年のこと。人から言われるのでなく、自分自身のやる気が大事です。一日七・八枚ずつですが年賀状も書き、去年は百枚以上出しましたよ」絵画のほうでも、今年人がやらないようなものに挑戦したいとニコニコされます。



今井さんは、もともと習字を教えていらつしやいました。十年前に脳梗塞で右半身不随になったときは、深い谷底に落とされたような気持ちだったそうです。「会館の人たちの引き上げてあげようという心が伝わってきました。大勢の人との交わりのなかで立ち直ることができたように思います」今では筆を左手に持ちかえて、機能訓練の中のペン習字の講師も勤めておられます。

今年には習字の大作に挑んでみようという意欲です。

会館の職員からも「とても努力家で前向き」といわれるお二人、「希望をすてたら何もする気がおこりませんよ。しらさぎ会館はとても家庭的な雰囲気なんです。一緒に頑張りますか」と声を合わせられました。

在宅障害者デイサービス事業

デイサービス事業は、とかく在宅となりがちな障害者の方が文化的な活動を行うための機会と場所を提供し、社会参加をお手伝いします。

- 日常生活訓練
身体面の機能訓練、ペン字、カラオケ、皮細工、七宝焼など
 - 創作活動・軽作業
陶芸、絵画、手芸、木工など
 - 社会適応訓練(講座)
料理、お菓子、茶道、国語、マクラメ、手芸、福祉講座など
 - その他
運動会やリンゴ狩りなどの楽しい行事もあります。
- デイサービスをはじめ、会館のご利用に関するお問い合わせ先 山口市堂の前町一番五号 社会福祉センターしらさぎ会館 ☎22-3666

全国UJIターン・定住シンポジウム山口大会

最近、生活のゆとりをもとめて、東京などの大都市から地方へ移転し、定住するUJIターンが増えています。シンポジウムでは、地方回帰と地方定住の流れを一層確実なものにするために、これからUJIターンをどう促進していくかを考えます。

- 日時
一月十九日(木) 午後一時～八時
一月二十日(金) 午前九時～午後四時
- プログラム
○一月十九日(県教育会館)
・開会式
・「Uターン・Iターン体験記」UターンやIターンを進めるための提案」表彰と発表
・基調講演
「地方の魅力の向上と地方回帰」経済評論家 高原須美子
・パネルディスカッション
「魅力と活力ある地方の創造」
・閉会式
- ・情報交流会(ホテルニュータナカ)
○一月二十日
・分科会 ①地域づくり②UJIターンの促進(ホテルニュータナカ)
・現地視察
■問い合わせ 県企画部企画課(☎33-2516)へ

募集コーナー

第33回市民ロードレース大会

- 日時 2月11日(土・祝日)小雨決行
- ・受付 午前8時30分～9時
- ・開会式 午前9時30分
- ・スタート 午前10時30分から随時
- コース 維新百年記念公園陸上競技場周辺
- 種目
- ・小学生低学年(3年生以下) 1km
- ・小学生高学年(4・5・6年生) 2km
- ・壮年(30・40・50代) 3km
- ・女子(中学生以上) 3km
- ・中学生(男子) 5km
- ・一般 5km・10km
- 参加資格 市内に在住または通勤している人
- 申し込み 住所、氏名、連絡先、勤務先または学校名・学年、参加種目を明記して、1月26日まではがきまたは直接市教育委員会体育課(亀山町2-1/☎22-4111内線3341・3342)へ

(財)市公営施設管理公社の職員募集

- ◆職員(男性)若干名
- ・業務内容 公共施設の管理
- ・年齢 55歳～60歳まで(定年退職者)
- ◆臨時職員(女性)若干名
- ・年齢 50歳まで
- 採用予定日 平成7年4月1日
- 申し込み・問い合わせ (財)山口市公営施設管理公社(中央二丁目5-1市民会館内/☎28-7899)へ
- ◆履歴書を郵送または持参してください。

第3回やまぐちジュニアクロスカントリースキーインさんべ

- 日時 2月11日(土)～12日(日)午前8時市役所出発
 - 場所 国立三瓶青年の家(島根県大田市山口町)
 - 対象 市内の小学5・6年生
 - 募集人員 40人(応募者多数の場合は抽選)
 - 参加費 2,000円
 - 申し込み 往復はがきに住所、氏名、学校名、学年、電話番号、身長、靴のサイズ、保護者の承諾を記入し、1月28日(当日消印有効)までに市児童家庭課(亀山町2-1/☎22-4111内線2841)へ
- ### ガールスカウトの団員募集

- 募集団 第4団(白石・大殿・宮野・大内) 第33団(湯田・吉敷・大歳・平川・南部地区)
- 資格 小学1年生～高校3年生
- 申し込み
- 第4団:小沢登米子(滝町2-5/☎22-0593)
- 第33団:山口富美子(駅通り二丁目10-17/☎22-2336)へ

第33回山口県身体障害者体育大会スローガンを募集

- 募集期間 2月24日(金)まで
- 応募資格 県内在住の人
- 応募作品 身体障害者のスポーツ大会にふさわしいもの。未発表作品に限りません
- 応募方法 所定の応募用紙か官製はがきにスローガン、住所、氏名、年齢、職業または学校名・学年、電話番号を明記して県身体障害者体育大会運営委員会事務局(滝町1-1山口県民生部障害福祉課内/☎33-2765)へ

山口市民スキー講習会

- 日時 2月5日(日)午前6時市民会館小ホール前集合(午後7時帰着予定)
- 場所 八幡高原191スキー場(広島県山県郡芸北町)
- 費用 6,000円
- 募集人員 40人(先着順)
- 講習編成 初心者組・中級者組・上級者組(対象 小学4年生以上)
- 講師 杉本耕二・全日本スキー連盟指導員ほか5名
- 申し込み 所定の申込用紙に代金を添えて山口市スキー連盟事務局(吉数字上清水 スポーツショップスギモト内/☎32-1234)へ
- ◆積雪の状態により講習会ができない場合は中止となります。スキー用具・スキーウェアのレンタル希望者は、事前に申し込んでください。

公正取引委員会の消費者モニターを募集

- 公正取引委員会は、独占禁止法や景品表示法の運用によって、消費者の利益を守る仕事をしています。この公正取引委員会の仕事に、消費者の立場から協力していただく「消費者モニター」を募集します。
- 応募資格 20歳以上の人
 - 任期 平成7年4月から1年間
 - モニターの仕事 研修会への参加、アンケート調査の回答、意見・要望・情報の随時提供など
 - 謝礼 年額12,000円の予定
 - 募集人員 全国で1,000人程度
 - 申込期限 2月5日(日)当日消印有効
 - 申し込み 所定の申込書で公正取引委員会事務局中国事務所取引課(〒730広島市中区上八丁堀6-30合同庁舎4号館/☎082-228-1501)へ
 - ◆申込書は、市生活環境課(☎22-4111内線2432)にあります。

2月の不燃物収集日

1日(水)	嘉川
2日(木)	陶・鎗銭司
3日(金)	佐山
6日(月)	下金古曾・木町・一本松・米屋町・久保小路・新馬場・御局小路・銭湯小路・松の木町・相物小路・太刀壳
7日(火)	名田島・秋穂二島
8日(水)	野田・大殿大路・上堅小路・今市・上古熊・古熊・東滝・天神通り・八幡馬場・田町
9日(木)	大内
10日(金)	西朝倉・西惣太夫・角下市町・堂の前・湯屋町
13日(月)	今道・大附・熊野・大市諸願・石観音・元町西平川
14日(火)	三和町・西滝・天花畑・天花・下堅中下
15日(水)	小鱈・新橋・西門前
16日(木)	仁保
17日(金)	上後河原・(上・中・下)清水・西白石・西糸米・中讃井
20日(月)	吉敷
21日(火)	荒高・円政寺・下後河原・中後河原・中河原・竜王町・前町・元町
22日(水)	宮野
23日(木)	下堅上・東糸米・東白石・中市・今小路・新天街・新道・新町・新丁・早間田・鱈石
24日(金)	上・中・下道場門前・上金古曾・朝倉中央・東惣太夫・東朝倉
27日(月)	大歳
28日(火)	

○日時 1月25日(水)午後1時半(1時受付開始)

○場所 白石公民館

○相談内容 日常生活での法律の問題に関すること

○相談員 弁護士

○問い合わせ 市広報広聴課市民相談室(☎22-4111)

書などを持参してください。

※ご相談に際しては、詳しい書類(登記、契約90)で常時受け付けています。

※行政相談は、市民相談室、行政監察事務局(☎22-11590)で常時受け付けています。

市民無料法律相談

編集後記

▽子どもを一時的に預かってくれるファミリー・サポート・センターが開設されて共働きのご家庭などから大変喜ばれています。この事業が少子化傾向に歯止めをかけ、働く女性のためのクリーンヒットになるようみんなで支援していきたいものです。

▽新春を祝う一連の恒例行事も、どんと焼きをもって一段落し、平成七年が本格的に動きはじめましたが、暖冬・少雨気味の気象がちよっぴり気がかりです。

健康コーナー

乳幼児特別クリニック

- 期日 2月6日(月)
- 受付時間 午後1時~2時
- 場所 山口環境保健所
- 対象 発育・発達について心配のある乳幼児
- 申し込み 山口環境保健所保健指導班(☎22-5111)へ(予約制)

心の健康相談

- 期日 一般精神保健相談 2月2日(木)
老人精神保健相談 2月9日(木)
- 受付時間 午後1時~2時
- 場所 山口環境保健所
- 申し込み 山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)へ(予約制)

催し物とお知らせ

児童巡回相談

- 日時 2月3日(金)午前10時~午後3時
- 場所 名田島公民館
- 対象 市南部地域に在住で、18歳未満の児童を養育し、相談が必要な人
- ◆相談内容は養護、保健(未熟児童)、心身障害(肢体不自由など)、非行、育成(不登校など)に関する事など。県中央児童相談所の児童福祉司などが相談を受けます。
- 問い合わせ 県中央児童相談所(☎22-7511)または市児童家庭課(☎22-4111内線2842)へ
- ◆相談希望の人はなるべく1月30日までに連絡してください。

電話加入権の公売

- 日時 1月26日(木)午前9時40分から
- 場所 市役所2階第2会議室
- 持参するもの 印鑑、身分証明書(運転免許証など)、入札予定金(50,000円以上・別途消費税)
- 公売する電話加入権 12件
- ◆本人以外の方が入札する場合は、委任状が必要です。なお、市税などの納入により当日公売を中止する場合がありますのでご了承ください。
- 問い合わせ 市収納課(☎22-4111内線2286)へ

1995年農業センサスにご協力ください

農林水産省では、平成7年2月1日現在で、全国の農家などを対象に「1995年農業センサス」を実施します。

この調査は、全国の農家など農業を営むすべての事業体を対象とし、わが国の農業の実態を明らかにする最も基本的な統計調査で、「農業に関する国勢調査」ともいわれる大切な調査です。

調査の結果は、国や地方公共団体をはじめ各方面で農業施策推進などの基礎資料として幅広く利用されます。

1月下旬より調査員がおうかがいして、農業の経営状況などをお尋ねしますので、ご協力をお願いします。

なお、調査した事項は、統計を作成するためだけに使われるもので、個人の課税などその他の目的に使うことは法律で固く禁じられていますので、ありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

- 問い合わせ 市広報広聴課統計担当(☎22-4111内線2145)へ

養護老人ホーム秋楽園の園舎が新築されます

養護老人ホーム秋楽園(秋穂町)の園舎新築工事が平成6年11月22日に着工されました。

新しい秋楽園は、鉄筋コンクリート造1部2階建、全室個室で入居者のプライバシー保護が図られています。

建設工事費は13億3,385万円で、国・県の補助金と年金積立金の還元融資を受けています。

- 完成は平成7年9月の予定です。
- 入居などの問い合わせは市高齢障害課(☎22-4111内線2821・2822)へ

市への物品の納入などの入札参加資格申請を受け付けます

平成7年度から2年間、市が発注する物品の製造の請負、買い入れや物品の売払契約の指名競争入札に参加される人(会社)は、所定の「指名競争入札参加資格申請書」を市財務管理課へ提出してください。

- 受付期間 2月1日(水)~28日(火)
- 問い合わせ 市財務管理課(☎22-4111内線2231)へ

市の建設工事等の競争入札資格審査を受け付けます

平成7年度と8年度に市が発注する建設工事等の競争入札の参加資格審査申請を受け付けます。

- 受付場所 市工事検査課(3階)(亀山町2-1 ☎22-4111内線2291) 郵送も受け付けます。(期限内必着)

水道局の建設工事等の指名競争入札の資格審査を受け付けます

水道局が発注する平成7年度と8年度の建設工事等の指名競争入札の参加資格審査申請を受け付けます。

- 受付場所 水道局検査室(2階)(宮島町7-1 ☎22-0004) 郵送も受け付けます。(期限内必着)

◆参加資格

- ・建設業法第3条第1項の許可業者で、同法第27条の23の経営に関する事項の審査を受けている者
- ・測量法第10条の3に規定する測量業者
- ・公共工事の前払金保証事業に関する法律第19条第3号に規定する建設コンサルタントの内、土木・建築に関する工事に係るもの(市外に主たる営業所を持つ建設コンサルタントにあっては、建設コンサルタント登録規程第2条の規定により登録を受けた者)
- ・地質調査業者登録規程第2条の規定により登録を受けた者
- ・補償関係コンサルタントを営む者(不動産の鑑定評価に関する法律第22条に規定する登録、建築士法第23条第1項に規定する登録、土地家屋調査士法第6条に規定する登録等営業に関する法律上の資格が必要とされる業務に係る場合にあっては、当該資格を持つ者)

- ◆受付期間 2月1日~28日
- ◆申請の書式 建設省の統一様式
- ◆納税証明書および建退共・中退共加入履行証明書の写しを添付のこと

法律扶助の日記念 法律事務所開放無料法律相談

- 期日 1月24日(火)
- 予約受付期間 1月17日(火)~20日(金)午前9時~午後5時
- 申し込み 山口県弁護士会(駅通り一丁目6-17山口地方裁判所内/☎22-0087)へ

期日	内容	講師	期日	内容	講師
2月4日(土)	開講式 印象に残る旅のお手伝い 山口市の観光の概要と現況	藤村順一郎・市観光ボランティアガイドの会会長 市商工観光課職員	2月25日(土)	山口の歴史と史跡(毛利氏時代)	樹下明紀・県立図書館総務課主査
			3月4日(土)	幕末維新の山口 長州藩と郷土の諸先達	
2月11日(土)	山口の歴史と史跡(大内氏時代) 中世の山口と大内氏①	平瀬直樹・県文書館専門研究員	3月11日(土)	(現地講習) 瑠璃光寺五重塔とその周辺	永久鉄哉・瑠璃光寺資料館副館長
2月18日(土)	中世の山口と大内氏②	和田秀作・県史編さん室研究員	3月18日(土)	(現地研修) ボランティアガイドの実際 入会説明 閉講式	市観光ボランティアガイドの会会員

山口市 観光ボランティアガイド 養成講座

○対象 講座終了後ボランティアガイドの会に加入し、ガイド活動(主として五重塔の周辺で土・日・祝日に月一回程度の参加)ができる人

○時間 午後一時三十分~三時三十分

○場所・申し込み先 山口ふるさと伝承総合センター(下堅小路二丁目 ☎2813333)へ